

スコットランドとのパートナーシップ

2014年2月19日のサンケイスポーツに「日本ラグビー協会、スコットランドと連携へ」^(※1)という記事を目にしました。3/8時点でスコットランドラグビー協会(SRU)および日本ラグビーフットボール協会(JRFU)のホームページを見てもリリースは出ていませんが、思ったことを記載しておきます。

本題に入る前に、資料1、資料2および資料3を読み比べて下さい。尚詳細は西川ラグビーコラムをご参照ください。

さて、後者(資料3)はラグビー発祥について前者(資料2)の通りに心底認めていないことは明らかです。ラグビーフットボール協会(RFU)^(※2)も設立100周年記念誌^(※3)に証拠はないと記述していますがラグビーについて考えるべき多くのものを残してくれています。

RFU創立に少し遅れてSRU^(※4)が設立され意見の相違等から話し合われてIRFB(現IRB)が設立(1886年)されました。そして今まで旧英国植民地諸国の台頭もあって一致団結とはいかないまでも競争し合ってラグビー普及発展に努められました。

日本国内にラグビーが入ってきたのは、慶應義塾體育會蹴球部史によれば1899年とされています。時代は過ぎ1960~1980年代にかけて、星名泰先生・大西鐵之祐先生等で代表チームを強くしラグビーの普及発展をはかる活動もRFUの出版物の翻訳から始められました。

RFU・SRU両協会が対立的であるといえ言い過ぎになりますがRFUはどちらかといえば保守派でSRUは革新派です。

SRUの強力な推進力がSEVENSの普及発展を加速させオリンピックへ参加の道を開いていったのでしょう。

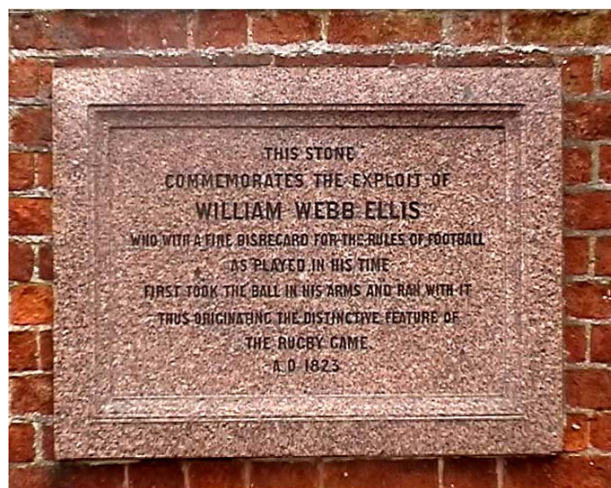
この度のJRFUがSRUとのパートナーシップを結ぶというニュースは日本ラグビーのために有効なものであることは間違いないと思いますがRFUのTechnical AdministratorであったDon Rutherfordからご厚情を頂いた小生には時代の変化を淋しいものと感じました。

日本代表は強くならなければなりません。日本のために勝たねばなりません。見て学ぶことは大切ですがパートナーから与えられる「何か」を待つては十分な結果は得られません。積極的な発問することが大切です。その答えが受動的プラスになるだけでは駄目で質問を作るために積極的に行動し考えを深める事が実力を増すのに大切です。パートナーシップが本当に有意義で有効なものになるために必要欠くべからざる事だと思います。



資料1^(※5)

ラグビー発祥の地とラグビー校グラウンド



資料2^(※6)

ウィリアム・ウェブ・エリスの記念板

英文	和文
<p>Principles of the Game</p> <p>Conduct</p> <p>The legend of William Webb Ellis, who is credited with first picking up the football and running with it, has doggedly survived the countless revisionist theories since that day at Rugby School in 1823. That the Game should have its origins in an act of spirited defiance is somehow appropriate.</p>	<p>ゲームの原則</p> <p>行動</p> <p>フットボールの試合中にボールを最初に拾い上げ走ったと信じられている、かのウィリアム・ウェッブ・エリスの伝説は、ラグビー校でそれが起きたと言われる 1823 年のその日以来、これを否定しようとする数え切れない人々の反論に対抗して強固に生き延びてきた。ラグビーという競技が、スピリットあふれるひとつの挑戦行動にその起源をもっていたに違いないと考えることは、ある意味適切である。</p>

資料 3 (IRB 競技規則 2013 ラグビー憲章より)

2014.03.08
西川 義行

*1: <http://www.sanspo.com/rugby/news/20140219/oth14021919320001-n1.html>

*2: http://en.wikipedia.org/wiki/Rugby_Football_Union

*3: Uel A. Titley, Ross McWhirter 著 “Centenary History of the Rugby Football Union” (1970 年発行)

*4: http://en.wikipedia.org/wiki/Scottish_Rugby_Union

*5: http://en.wikipedia.org/wiki/File:Rugby_School_850.jpg

*6: http://en.wikipedia.org/wiki/File:WWEplaque_700.jpg